



令和3年度を迎えるにあたって

コロナ禍に振り回された令和2年度、住民の皆様のご理解と協力を頂き乗り切れたことを感謝申し上げます。

新体制のもと、役員の皆様のご協力も得て様々な改革に取り組むことが出来ました。取組んで成果が出た一例をあげると、

広島市より、毘沙門台集会所裏の広場(保育園建設用地)返却要請を受け大変苦慮しましたが、住民の皆様にとっても不可欠な用地であり、毘沙門台活性化の拠点としての計画書を提示し、広島市より計画案の承認を受けることが出来ました。現在、整備中で近々に完成を予定しています。

この広場は三世代が楽しく集える広場を目指し、現在、愛称を募っており近々、役員会に諮り決定のうえご披露をします。

その他、住民有志の献身的な協力を得て、第二毘沙門台町内会F区のり面の整備にも取り組み、見違える様な「のり面」を実現し、

子どもたちの元気な声が聴ける体力アップ施設として近隣の皆様に評価され、桜並木の鑑賞に訪れる皆様にもお楽しみ頂けるよう整備をいたしました。

周辺環境のほか、コロナ禍終息後に予測される社会変化に対応すべく、毘沙門台ICT構築も着々と整備中で、お手持ちのパソコンやスマホ等で、情報の共有ができるよう環境を整備してまいります。

令和3年度も異変種コロナの感染拡大が懸念され終息が見通せない状況にありますが、住民の皆様が期待されること、住民の皆様が出来ること、社協や町内会が出来ることを整理し、一体となって「住んでみたい街、住んでよかった毘沙門台」の実現を前進させたいと考えています。

皆様のご支援と協力を切にお願い申し上げます。

毘沙門台学区社会福祉協議会
会長 林 裕

令和2年度第2回理事会を開催しました

令和3年3月25日(木)19時から毘沙門台集会所において、「毘沙門台学区社会福祉協議会令和2年度第2回理事会」を26名中23名が出席し開催しました。

冒頭に岡崎毘沙門台小学校校長から、転勤する矢本教頭先生、転入される岡本教頭先生を紹介いただき、転出転入されるお二人の先生から挨拶を頂き議事に入りました。

議題は、令和3年度総会に付議する「令和2年度の事業報告・会計報告」、「令和3年度

の事業計画案・予算案」及び「規約改正」の審議を行いました。

規約改正は、事務局提案に一部修正がありましたがすべての議案が可決承認されました。

規約改正の主な点は、団体長連絡会を理事会に統合し決議する機会を多くするとともに情報連絡・報告の団体長連絡会の機能を統合しよりコミュニケーションの充実を図ることとなりました。



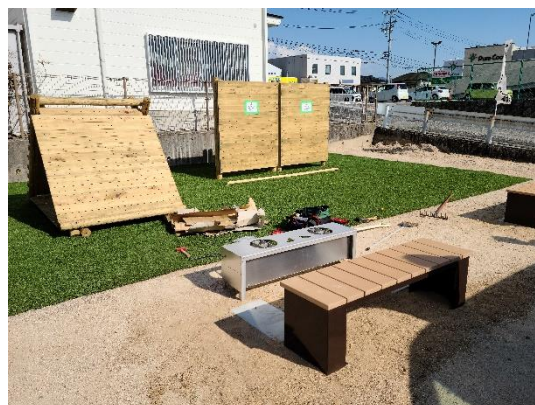
毘沙門台集会所前の広場の整備状況

毘沙門台集会所裏の広場（旧保育園建設予定地）を毘沙門台町内会が広島市から借用していましたが、広島市から返還要請があり住民の皆様のご意向を踏まえ毘沙門台活性化の拠点として計画書を広島市に提示し、昨年10月1日に広島市から毘沙門台学区社会福祉協議会が借用することとなりました。災害時は住民の方々の一時避難場所とし、平常時は町民皆様の憩いの場所として活用することとなり、一部未整備の箇所がありますが3月末でほぼ整備が終わりました。音楽会、踊り等の

ステージ、子どもたちの為のボルダリング、災害時に炊出しを行う「かまどベンチ」を設置しました。

5月末に開所式を行いますので多くの方々にお願いいたします。

4月以後、花壇を作成し四季折々の花を咲かせ憩いの場所にしたいと思います。花壇のブロック、花の苗、肥料等を用意しますので花壇の作成～花壇の整備を行っていただける方を探しています。是非ご協力のほどお願い申し上げます。



<編集後記>

理事会でお話ししましたが、「私はこれで困っている」と言えるのは5人に1人、「誰かの役に立ちたい」と思っている人は3人に1人だそうです。「最も不幸なことは、病気や死そのものではなく、誰からも関心をもってもらえず見捨てられることです」（マザーテレサの言葉より）。毘沙門台に住む皆さんがお互いを気遣い、心を寄せ合い「住んでみたい街、住んでよかった毘沙門台」を実現しましょう。

（事務局長 横平和美）